

千葉市感染症発生動向調査情報

2023年 第52週 (12/25-12/31) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	定点	52週	51週	50週	49週	
上段: 患者数 下段: 定点当たりの報告数 「定点当たりの報告数」とは 報告数/報告定点数	小児科	17	18	18	18	*正式名称は インフルエンザ/COVID-19定点
	眼科	5	5	5	5	
	*インフル/COVID	25	28	28	28	
	基幹	1	1	1	1	

定点	感染症名	注意報	千葉市				千葉県
			12/25-12/31	12/18-12/24	12/11-12/17	12/4-12/10	12/18-12/24
			52週	51週	50週	49週	51週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	10
	咽頭結膜熱	↓↓	20	52	37	46	481
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓↓	63	106	141	126	776
	感染性胃腸炎	↓	149	178	189	233	980
	水痘		2	5	5	1	16
	手足口病		4	4	5	3	14
	伝染性紅斑		2	1	1	1	1
	突発性発しん		7	5	8	3	17
	ヘルパンギーナ		0	1	1	0	2
	流行性耳下腺炎		0	0	0	0	4
	*インフル/COVID		501	631	687	538	5,135
(高病原性鳥インフルエンザを除く)	★↓	20.04	22.54	24.54	19.21	25.30	
新型コロナウイルス感染症	↓	62	85	65	55	961	
		2.48	3.04	2.32	1.96	4.73	
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	◎	9	1	7	3	40
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	2
	無菌性髄膜炎		0	1	0	0	1
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

「流行中」 流行発生警報開始基準値以上

「やや流行中」 流行発生注意報基準値以上、又は流行発生警報開始基準値を下回った後に流行発生警報終息基準値以上

2 全数報告対象疾患: 7 例

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	70歳代	胸水リンパ球優位	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	男性	80歳代	病原体の分離・同定等
腸管出血性大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認		梅毒	男性	
急性脳炎	女性	10歳未満	高熱	男性		40歳代	血清抗体の検出
	男性	10歳代	高熱、中枢神経症状等	-	-	-	

・第52週は、結核1例(116)、腸管出血性大腸菌感染症1例(39)、急性脳炎2例(15)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(8)、梅毒2例(71)の発生届があった。

※ ()内は2023年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第52週のコメント

<咽頭結膜熱>

前週より減少し1.18となった。過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は1歳及び5歳が最多。区別では、緑区(1.75)が流行発生警報終息基準値(1.0)を上回り最多で1歳及び2歳の報告が多かった。他に稲毛区(1.67)が流行発生警報終息基準値を上回った。

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

前週より減少し3.71となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。年齢階級別の報告数は7歳が最多。区別では、稲毛区(7.67)が流行発生警報終息基準値(4.0)を上回り最多で7歳の報告が最も多かった。他に緑区(5.00)が流行発生警報終息基準値を上回った。

<感染性胃腸炎>

前週よりやや減少し8.76となった。過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルで、年齢階級別の報告数は4歳が最多。区別では、緑区(18.25)が流行発生警報終息基準値(12.0)を上回り最多で6歳の報告が最も多かった。他に若葉区(16.50)が流行発生警報終息基準値を上回った。

<インフルエンザ>

前週よりやや減少し20.04となった。流行発生注意報基準値(10.0)を上回ったままであり、過去10年の同時期と比べると多かった。10歳未満の年齢階級別の報告数は9歳が最多。区別では、中央区(32.60)が流行発生警報開始基準値(30.0)を上回り最多で10歳未満では6歳の報告が最も多かった。他に若葉区(29.25)、稲毛区(20.75)、緑区(15.00)及び美浜区(10.75)が流行発生注意報基準値を上回った。

<新型コロナウイルス感染症>

前週よりやや減少し2.48となった。年齢階級別の報告数は20歳代が最多。区別では、中央区(5.20)からの報告が最多で20歳代の報告が最も多かった。

<流行性角結膜炎>

前週より増加し1.80となった。過去10年の同時期と比べると最多で、年齢階級別の報告数は20歳代及び70歳以上が多かった。区別では、花見川区(4.00)からの報告が最多で70歳以上の報告が最も多かった。

■ 「過去10年との比較グラフ」及び「区別の発生グラフ」はWebSiteでご覧いただけます。

- ・ 過去10年との比較グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2023.pdf>

- ・ 区別の発生グラフ

https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph_ward2023.pdf